

ポジティブ・インパクト・ファイナンスにおける評価書の発行について

当研究所は、学校法人熊本YMCA学園（以下「同学園」という。）との「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下「PIF」という。）評価書作成業務およびモニタリング業務に関する契約」に基づき、下記の通り、2022年9月30日に評価書を発行しましたので、お知らせいたします。

当研究所は今後もPIFを通じて、地域のお客さまとともに、持続可能な社会づくりへ向けた取組みを進めてまいります。

記

1. 評価書作成業務概要

評価書発行日	2022年9月30日
KPI（一部抜粋）	就職内定率、進学率の適切な把握、検証 就職内定（進学）率100% ボランティア参加延べ人数 500人/年
評価の対象	学校法人 熊本YMCA学園
第三者機関	株式会社格付投資情報センター（R&I）

2. 企業概要

企業名	学校法人 熊本YMCA学園
代表者	理事長 光永 尚生
所在地	熊本市中央区段山本町4-1
設立年月日	平成5年4月
事業内容	専修学校熊本YMCA学院および幼稚園の運営

3. インパクト評価概要

マテリアリティ（重要課題）	内容、対応方針
多様性の深化、発展	<p>【日本語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な国籍の生徒受入を継続し、生徒数増加を目指す。 日本語学習から就職・進学までの一貫教育を継続し、学習のみならず生活相談も実施し、良質な人材を輩出する。 <p>【日本語科・専修学校・幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各施設における生徒間および教職員間の様々な交流機会の増加により、全学的な多様性の深化を目指す。
地域とのパートナーシップの拡大	<p>【日本語科・専修学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内外での企業・学校とのパートナーシップの構築。 <p>【日本語科・専修学校・幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域行事への積極参加による地域社会との連携体制の拡大、コミュニケーション能力、ユースエンパワーメントの拡充

公益財団法人 地方経済総合研究所

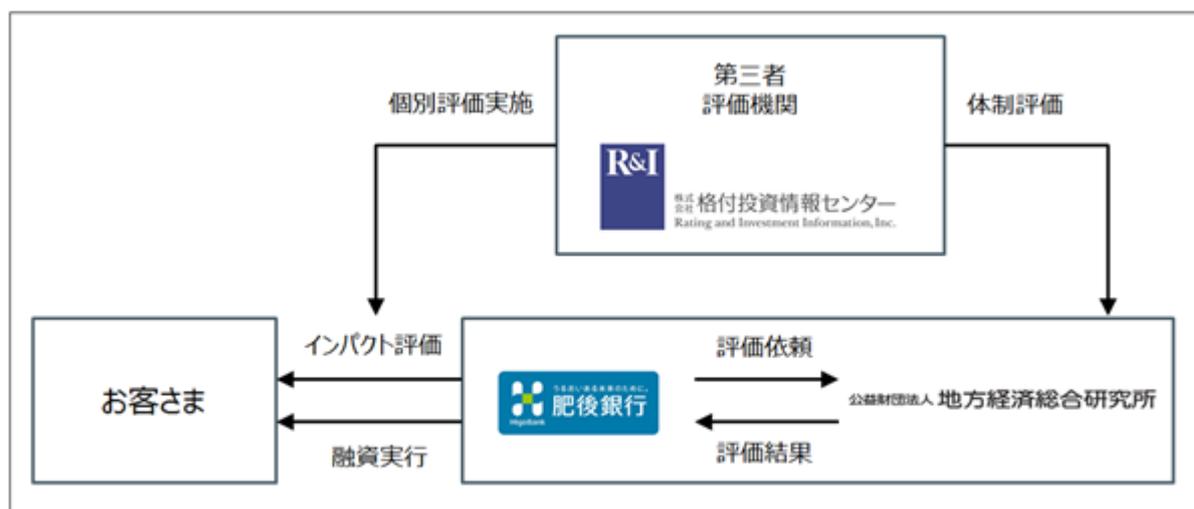
学習環境の変革と質の向上	【日本語科・専修学校・幼稚園】 <ul style="list-style-type: none">新しい時代に対応した学習環境の構築と ICT 化の推進。ベテラン教員と若手教員の協業による新たな施策の検討。教職員の Well-being を意識した各種施策の検討
--------------	--

4. PIF スキーム図

PIF は、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に与える「インパクト」（ポジティブな影響およびネガティブな影響）を金融機関が分析・評価し、継続的な支援を行う取組みです。

肥後銀行および当研究所においてお客様が抱える社会的インパクトを包括的かつ定量的に評価します。

なお、肥後銀行および当研究所による PIF 評価のフレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（以下「R&I」という。）からポジティブ・インパクト金融原則への適合性についてのセカンドオピニオンを取得しております。



(参考) 評価書は、下記 URL をご参照ください。

<https://www.higobank.co.jp/upload/kumamotoymca.pdf>

(参考) 2021年12月24日付「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の取り扱い開始について

<https://www.higobank.co.jp/showimage/pdf?fileNo=1452>

(参考) 肥後銀行の適合性に関するセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。

https://www.r-i.co.jp/news_release_suf/2021/12/news_release_suf_20211224_jpn_01.pdf

《本件に関するお問い合わせ》
公益財団法人 地方経済総合研究所 総合調査部
担当：財津、津口
電話 096-326-8634

以上